

地理歴史・公民科

教科名	地歴科	科目名	日本史A
科目の目標	(1) 歴史についての興味関心を深め、基本的な歴史用語を理解する。 (2) 歴史の学習を通して現代社会についての理解を深め、歴史の方法論を学ぶ。		
履修学年	3年	類型	文系・理系共通
単位数	2単位	履修形態	選択
教科書	日本史A(東京書籍)	副教材等	

①学習の目標

- (1) 人間の尊重と科学的な探求の精神にもとづき、広い視野を持って歴史とそこに存在している人間についての理解を深める。
(2) 混迷を深める国際社会を生き抜くための世界観を提示し、自主的・意欲的な学習に結びつける。

②学習内容と授業の進め方

- (1) 教科書の内容を中心に、各自のノートに要点整理をしながら、日本の歴史の基本事項を学ぶ。
(2) テーマを設定し、自分で資料を活用し考察する課題に取り組んで発表し、ディスカッションを行う。

歴史は、興味深いものであると同時に正しい歴史観が社会を見る目を養い、現代社会の諸問題の解決に重要な意味を持つことは言うまでもない。また、自国の歴史を正しく理解することは、他の国や世界全体を理解するための基礎となる。世界史的視野を踏まえ、現代日本の諸問題に対する考察を深める。

④評価の観点

- (1) 関心・意欲・態度
【関】 日本の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求し、国家・社会の一員としての責任を果たそうとしているか。【関】
- (2) 思考・判断
【思】 日本の歴史から課題を見だし、世界史的視野に立って多角的に我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、国際社会の変化をふまえ公正に判断しているか。【思】
- (3) 資料活用の
技能・表現
【資】 日本の歴史についての諸資料を収集・活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身につけ、考察した過程や結果を適切に表現できるか。【資】
- (4) 知識・理解
【知】 日本の歴史についての基本的・発展的な事柄を世界史的視野に立って理解し、その知識を身につけているか。【知】

⑤評価の方法

定期考査の成績とともに、学習活動への参加態度とあわせて総合的に評価する。

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など(観点項目を記入)
4	序章 私たちの時代と歴	日本の前近代史を概観する。時代区分の概念や意味、歴史を認識する視点、政治・経済・文化の変化について、世界史と比較し、アジアとの関わりを特に注意して理解する。	・開国から明治時代の近代日本の歩みに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしているか。定期考査と授業態度から評価する。【関】 ・諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用するとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。テーマ研究と発表から評価する。【資】 ・課題を見だし、アジアにおける国際環境と関連付けて多角的に考察できるか。また欧米の近代社会の成長と発展、幕末の動乱と明治新時代へと移り変わる日本国内の政治・社会・文化の変化を理解し、知識を身につけているか。定期考査の素点から評価する。【思】【知】
5			
6			
7			
7	1 近代日本の形成	調べ学習においては、論点の整理、論文やレポートの資料集めの方法、資料を証拠として使用する方法、わかりやすいレジュメの製作などを学ぶ。質疑応答で、テーマ探求さらに深めていく。 前期中間考査(江戸時代の前まで)	・日清・日露戦争、二つの世界大戦と戦後の日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしているか。調べ学習等への取り組みと発表や、発表におけるディスカッションで評価する。【関】 ・諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用するとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。レポート提出あるいは発表する。【資】 ・課題を見だし、世界情勢や日本国内の動きと関連付けて多角的に考察できるか、調べ学習のレジュメ、研究発表とテーマについての議論から評価する。また二つの世界大戦と日本の関わり、大正・昭和と移り変わる日本国内の政治・社会・経済・民衆の動き、日本が軍国主義へと向かう背景と戦後の占領政策の内容、さらには日本が主権を回復し国際社会に復帰した後の政界の動きや経済成長の動向を理解し、知識を身につけているか。定期考査の素点から評価する。【思】【知】
8	2 東アジア世界の變動と日本		
9			
10	3 二つの世界大戦と日本		
11	4 第二次世界大戦後の国際社会と日本	後期中間考査(明治～満州事変) 第二次世界大戦に至る世界情勢を多面的に考察する。	・世界の諸問題を理解し、現代の日本が何をすべきなのか考える。中間考査の記述問題などで評価する。【関】【資】【思】【知】
12	5 現代の世界と日本		
1			

- ・6月3週目までは、教科書を使って前近代～江戸時代の学習をします。教室授業です。
- ・6月4週目(学校祭前)に、調べ学習のガイダンス・グループ決め・図書館の案内を行います。
- ・学校祭前後から、6時間(予定)を配当し、図書館でテーマ研究をします。
テーマは、明治維新から2・26事件まで、15個設定しています。1時間で2グループ発表します。
15分の発表、5分の質疑応答、5分の教員による補足で、計7時間配当しています。
- ・発表学習後は教員による授業に戻ります。
- ・定期試験は、教科書ベースの客観問題と、長文の論述試験を2題出題します。
論述問題については予め準備ができるよう指導します